

華麗な春の花のバレードのもと、平成29年度がスタートしました。学校長を始めとして多くの異動がありました。一抹の別れの寂しさはありますが今年度も「進化するたまたがわ」は保護者・地域・事業所の方々としっかりとスクラムを組んで、生徒の就労支援のために全力を尽くします。就任のご挨拶にも書きましたが、本校は今後も生徒の将来の自立や社会参加に向けて、生徒を大切に、生徒の力を信じ、その力を引き出していこうと考えています。どうぞこれからも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

<第12回入学式>

4月7日（金）、満開の桜の下、第12回の入学式を挙行了しました。緊張した面持ちで入場してきた新入生はとても愛らしく見えました。この生徒たちが3年後、成長し上級生のように大きく、たくましくなるようにしっかりと指導していきます。

以下に私の式辞の抜粋を紹介します。

新入生のみなさん、入学おめでとう。

ここから歓迎します。みなさんはいま、期待と不安が入り混じった気持ちだと思います。どんな授業が始まるのか、友達はできるのかなど心配なことはつきません。でもあなたたちなら大丈夫です。昨日の入学式の予行練習をずっと私は見ていました。最初は小さな返事だったのに先生に促されるとどんどん大きな声になっていきました。その素直な気持ちとがんばろうという心があればどんなにつらいことでも乗り越えていけます。

いまから一編の詩を紹介します。河端洋安「君の声」という詩です。この人は十数年前、難病と闘い続けていた詩人です。（読み上げた詩は著作権上、省略）

たまたがわ高等支援学校はこの詩に出てきた「君」になります。頭を抱えて座り込みそうになったとき、そばで見つめてそっと手を差し伸べる存在になります。だから何事にも負けず、いろんなことにチャレンジしてください。わたしたちはいつもみんなの心に寄り添います。時に厳しく、時に優しく。そして今日入学した仲間とともに思いっきり充実した学校生活を楽しんでください。

保護者の皆様お子様のご入学、本当におめでとうございませう。心からお喜び申し上げます。本日入学の生徒、一人一人の夢がかなうまで、保護者の方々と学校がスクラムを組んで連携しながらがんばりませう。

<始業式>

2・3年生にも以下のようなエールを送りました。

社会は大きく変化しています。AIやIoTなどの導入が進み、どんどん便利な住みやすい社会になっています。その一方で、世界では戦いが続き、罪のない子どもたちが毎日のように命を落としていっています。こうした世の中でみんなは今の自分にできることをしっかりと見つめて、おこなってもらいたい。その積み重ねが、きっと卒業時の就労につながっていくでしょう。